

1. 科目名(単位数)	保育実習指導Ⅲ (2単位)	3. 科目番号	SSOT4483 SJMP4353 JEPR3517 JCPR3517 JNPR2517 JCCP2307						
2. 授業担当教員	齋藤 厚子								
4. 授業形態	講義、演習、ディスカッション	5. 開講学期	春期						
6. 履修条件・他科目との関係									
7. 講義概要	保育実習Ⅲの意義・目的・内容・方法を理解する。児童福祉施設の種類及び機能と保育士の役割を理解する。さらに実習課題の明確化、実習記録の意義・方法の理解、実習施設の理解を図る。指導計画を立案し、実践に必要な準備を行う。実習後には、実習総括・評価を行い、新たな学習目標・課題を明確化する。								
8. 学習目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1.児童福祉施設の種類及び機能と保育士の役割を明確にする。</li> <li>2.実習に臨む際の目標を明確化し、それを達成するための具体的方策を考えることができる。</li> <li>3.実習記録の意義・方法を理解し、実習から得た学習内容を具体的に記録することができる。</li> <li>4.演習と議論を繰り返すことにより、理論と実践の統合とは何かを理解し、説明することができる。</li> <li>5.保育者を目指す者として望ましい態度を身につけられるよう、自身の日常生活態度、言葉遣い、服装、実習に臨む心構え等を自己評価・点検できる力を習得する。</li> </ol>								
9. アサシメント(宿題)及びレポート課題	<ol style="list-style-type: none"> <li>1.保育実習Ⅰでの成果を踏まえ、次の実習に改善すべき点をまとめる。</li> <li>2.授業内で配布するワークシート(施設概要・事例シート等)および指導案を提出する。</li> </ol>								
10. 教科書・参考書・教材	<p>【教科書】 関口はつ江編『自分をいかす保育実習ハンドブック』大学図書出版、2022 駒井美智子編著『施設実習ガイド』萌文書林、2020</p> <p>【その他】 保育実習Ⅰ(施設)の「実習日誌」 その他、適宜資料を配布する</p>								
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1.児童福祉施設の種類及び機能と保育士の役割を明確に出来たか。</li> <li>2.実習に臨む際の目標を明確化し、それを達成するための具体的方策を考えることが出来たか。</li> <li>3.実習記録の意義・方法を理解し、実習から得た学習内容を具体的に記録することが出来たか。</li> <li>4.演習と議論を繰り返すことにより、理論と実践の統合とは何かを理解し、説明することが出来たか。</li> <li>5.保育者を目指す者として望ましい態度を身につけられるよう、自身の日常生活態度、言葉遣い、服装、実習に臨む心構え等を自己評価・点検できる力を習得出来たか。</li> </ol> <p>○評定の方法 [授業への積極的参加度、日常の受講態度、レポート等を総合して評価する。]</p> <table border="0"> <tr> <td>1 授業への出席・レポート</td> <td>総合点の45%</td> </tr> <tr> <td>2 実習後指導のレポート</td> <td>総合点の40%</td> </tr> <tr> <td>3 日常の学習状況</td> <td>総合点の15%</td> </tr> </table>			1 授業への出席・レポート	総合点の45%	2 実習後指導のレポート	総合点の40%	3 日常の学習状況	総合点の15%
1 授業への出席・レポート	総合点の45%								
2 実習後指導のレポート	総合点の40%								
3 日常の学習状況	総合点の15%								
12. 受講生へのメッセージ	最後の実習に向けて、実習の振り返りをしっかりと行い自己課題を明確にしてください。遅刻や欠席はしない、提出物の期日を守るなどの基本的姿勢はもちろんのこと3回目の実習としての自覚をもって取り組むこと。								
13. オフィスアワー	後日インフォメーションします。尚、オフィスアワー以外の時間でも来室は可能ですが、できるだけ事前にメールにて連絡をするようにしてください。 メールアドレス： <a href="mailto:atsaito@ed.tokyo-fukushi.ac.jp">atsaito@ed.tokyo-fukushi.ac.jp</a> 研究室：13号館8階984								
14. 授業展開及び授業内容									
講義日程	授業内容	学習課題							
第1回	オリエンテーション 実習Ⅰとの違いをふまえ実習Ⅲの目的を明確にする。	事前学習	実習Ⅰの記録を読み返す。実習記録を持参すること。						
		事後学習	実習Ⅰの振り返りまとめる。						
第2回	保育実習Ⅰについての振り返り、自己の課題を明らかにする(自己課題レポートの作成)	事前学習	実習Ⅰの記録から自己の課題を抽出する。						
		事後学習	実習Ⅲの課題を再度確認する。						
第3回	種別ごとのグループに分かれ、実習Ⅲの配置施設について調べ、機能と役割について明確にするとともに自己の課題を具体化する。	事前学習	配属施設について調べ施設の機能を明確にする。						
		事後学習	実習Ⅲの施設について再度確認する。						
第4回	種別ごとに施設についての事前学習の発表を行う。	事前学習	発表に向けて準備する。						
		事後学習	発表全体を通して考えたことを踏まえ実習Ⅲに向けての抱負をまとめる。						
第5回	実習記録の書き方についてグループで話し合い、最終実習にふさわしい記録について考察する。	事前学習	実習Ⅰの記録から、記録を書く際の課題を具体的に抽出する。						
		事後学習	記録の意義についてまとめる。						
第6回	支援計画の作成①支援計画の目的と意義についてグループで話し合い考察する。	事前学習	支援計画の目的と意義について調べておく。						
		事後学習	自己の種別施設における支援の目的について再度考える。						

第7回	支援計画の作成②事例を検討し支援計画を作成する。	事前学習	自己の種別の支援計画の作成における留意点についてまとめる。
		事後学習	作成した支援計画について再考する。
第8回	支援計画の作成③支援計画の発表と意見交換	事前学習	発表に向けて支援計画のポイントをまとめる。
		事後学習	支援計画に基づく支援のあり方について考察する。
第9回	施設の種別ごとに部分実習の指導案を作成する。	事前学習	部分実習案を考える。
		事後学習	部分実習案を完成させる。
第10回	9回目の指導案に基づき模擬保育の準備を行う。	事前学習	模擬保育に向けての準備を考える。
		事後学習	発表に向けての仕上げを行う。
第11回	施設の種別ごとに部分実習の指導案に基づき模擬保育を行う。	事前学習	模擬保育の準備をする。
		事後学習	部分実習の実施における重要な視点をまとめる。
第12回	実習IIIについて振り返りを行い個々に振り返りシートにまとめる。	事前学習	実習IIIの振り返りを行っておく。
		事後学習	振り返りシートを完成させる。
第13回	個別の振り返りを発表する①	事前学習	発表の準備をする。
		事後学習	発表から学んだことをまとめる。
第14回	個別の振り返りを発表する②	事前学習	発表の準備をする。
		事後学習	発表から学んだことをまとめる。
第15回	全体討論と総括	事前学習	発表を通して学んだことを踏まえ振り返りシートを修正する。
		事後学習	実習III全体をまとめる。